

No.01

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防施設維持管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害活動拠点として市内12箇所に消防本部、消防署及び消防出張所が配置されており、総員396名（令和元年10月1日現在）の消防職員が各所属で毎日勤務又は2交替制勤務（24時間勤務）に従事しているが、これら施設の維持管理や環境整備を実施する。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
48,354 千円	48,354 千円	0 千円	48,354 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	消防職員数及び年間来庁者数：7,081人	対象1人あたり	6,828 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.02

担当課室	消防本部総務課	事業名	音楽隊運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市消防音楽隊は、消防（又は市）の行事や式典のほか、小中学校での演奏活動、高齢者福祉施設への慰問など年間約40回の演奏活動を実施している。これらの活動は、火災予防等の啓発活動や生涯学習の一翼を担っており、その演奏活動等の運営管理を実施する。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
29,124 千円	28,804 千円	△320 千円	28,804 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	演奏会聴衆者数：17,510人	対象1人あたり	1,645 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、定期演奏会のゲスト出演料等を見直して一部減額した。定期演奏会については、事業の目的を再確認し、引き続きゲスト出演料の削減に加え受益者負担や広告料収入等歳入の確保の検討を進めていくこととした。				

No.03

担当課室	消防本部総務課	事業名	教育・研修事業	事業区分	その他事業
事業概要	消防職員の資質向上のため、基礎・専門知識を学ぶ愛知県消防学校や、より高度な専門知識を学ぶ消防大学校への入校、外郭団体が行う研修会や講習会への参加及び業務に従事するのに必要な資格の取得を推進し、多様化する社会に対応できる職員を育成する。				
第7次総合計画	Plan 3 施策16 火災や救急に対する体制の強化を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
13,732 千円	13,876 千円	+144 千円	13,876 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	消防学校及び研修等受講者数：97人	対象1人あたり	143,051 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、自動車整備の資格取得にかかる費用を減額した一方、消防学校等研修出席負担金が確定した旨担当課からの申し出を受けたため増額した。				

No.04

担当課室	消防本部通信指令課	事業名	消防通信指令事業	事業区分	その他事業
事業概要	119番通報の受信、消防隊等への出動指令及び消防救急無線等を活用した通信統制業務を稲沢市と共同で実施する。また、これらの業務を継続するために、指令機器をはじめ、消防救急無線、消防本部内の通信ネットワーク等の機器を適切に維持管理し、消防通信の安定稼働を図る。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)
59,780 千円	59,780 千円	0 千円		59,780 千円	0 千円
K P I	受益者など (見込)	119番受信件数 : 32,479件		対象1件あたり	1,840 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.05

担当課室	消防本部通信指令課	事業名	消防緊急通信指令システム部分更新事業	事業区分	投資的事業
事業概要	稲沢市と共同で運用している消防緊急通信指令システムの老朽化した機器を更新し、同システムの安定稼働を図る。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)
56,647 千円	56,317 千円	△330 千円		56,317 千円	0 千円
K P I	受益者など (見込)	119番受信件数 : 32,479件		対象1件あたり	1,733 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、共用する稲沢市分の費用を精査した旨担当課からの申し出を受けたため減額した。				

No.06

担当課室	消防本部通信指令課	事業名	Net119緊急通報システム構築事業	事業区分	臨時事業
事業概要	音声による119番通報が困難な、聴覚又は音声・言語に障害のある方がスマートフォン等で、消防本部と「救急」や「火事」の情報をテキストチャット、すなわち文字による会話形式で、素早く119番通報ができ、また、GPS機能により位置情報も伝えられるなど、音声によらない円滑な119番通報を可能にするシステムを構築する。				
第7次総合計画	Plan 3 施策16 火災や救急に対する体制の強化を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)
2,103 千円	2,103 千円	0 千円		2,103 千円	0 千円
K P I	受益者など (見込)	聴覚・言語機能障害のある方 : 1,168人		対象1人あたり	1,800 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.07

担当課室	消防本部予防課	事業名	災害用街頭消火器等整備事業	事業区分	その他事業
事業概要	震災対策事業として地域住民の初期消火体制に万全を期すため、市内全域に設置している街頭消火器の定期的な更新を行うなどの維持管理を実施する。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
6,327 千円		6,327 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	街頭消火器設置本数 : 9,861本		対象1本あたり	641 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.08

担当課室	消防本部予防課	事業名	予防活動事業	事業区分	その他事業
事業概要	火災予防普及啓発活動として、火災予防運動、消防フェア(「きて・みて・たいけん138」)、児童防火作品の募集・展示等を実施する。また、防火管理者の養成、危険物施設や事業所への防火指導等を行い、防火管理体制の確立に努める。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
2,087 千円		1,996 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	火災予防普及啓発活動(消防フェア、児童防火作品)参加者数 : 1,789人		対象1人あたり	1,115 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、職員で構成する消防予防太鼓にかかる費用等を見直して一部減額した。消防予防太鼓については、予防活動事業の目的に対する手法として在り方の検討を進めていくこととした。				

No.09

担当課室	一宮消防署本署	事業名	警防事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害現場で主に消火活動を実施するとともに救急隊の支援活動等も実施している。平常時防火対象物の立入検査や市民を対象とした消火器取扱訓練等の火災予防活動を行い、さらには常に訓練を行い災害活動に万全を期している。また、これらの警防業務執行に必要とされる物品等の購入等の警防活動全般に関する事務管理も実施する。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
28,556 千円		26,707 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	火災等出動件数 : 3,215件		対象1件あたり	8,306 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、市全体の予算規模を維持するため、目の保護を目的に装着する現場活動用ゴーグルの一斉導入にかかる費用等を見直して一部減額した。				

No.10

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	救急救命士教育養成事業	事業区分	その他事業
事業概要	救急救命士とは、医師の指示の下に救急救命処置を行うことができる国家資格を有する者であり、心肺停止を含む重症傷病者に対して適切な処置をすることができ、救命率の向上にも寄与している。本事業は、現救急救命士の資質向上のための教育及び新規救急救命士資格取得者の養成事業である。				
第7次総合計画	Plan3 施策16 火災や救急に対する体制の強化を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②	増減(②-①)	③	増減(③-②)
7,680千円		7,680千円	0千円	7,680千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	救急救命士数:92人		対象1人あたり	83,478円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.11

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	救急事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害現場では主に傷病者に高度な救命処置を行いながら医療機関へ搬送する活動を行う事業である。平常時は応急手当の普及啓発のため救命講習等を実施し、常に処置訓練や内部研修会を行い、救急活動に万全を期している。また、これらの救急業務執行に必要とされる物品等の購入等の救急活動全般に関する事務管理も実施する。				
第7次総合計画	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②	増減(②-①)	③	増減(③-②)
24,982千円		24,977千円	△5千円	24,977千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	救急出動件数:18,274件		対象1件あたり	1,366円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、賠償責任保険料の加入者数が確定した旨担当課からの申し出を受けたため減額した。				

No.12

担当課室	一宮消防署本署	事業名	救助事業	事業区分	その他事業
事業概要	火災や地震等の災害による脱出不能者の救出活動を主な目的としている。今後、発生の危険性が指摘されている地震災害、テロ災害、土砂災害等においては、多数の脱出不能者が発生することが危惧され、より高度な資機材や救助技術の習得が必要である。これらの災害に対応するため当該事業の継続は必要である。中核市移行を前に、高度救助隊1隊を配備し、高度救助資機材及びテロ対策資機材の整備を実施する。				
第7次総合計画	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②	増減(②-①)	③	増減(③-②)
42,213千円		32,227千円	△9,986千円	42,118千円	+9,891千円
KPI	受益者など(見込)	救助出動件数:241件		対象1件あたり	174,763円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、市全体の予算規模を踏まえて、一旦、救助隊の組織増強に必要な一部費用を保留したものの、類似団体との比較・近年の災害状況を踏まえ、一部減額しつつも計上した。				

No.13

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	消防車両等維持管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	消防職員が使用する消防車、救急車その他の消防車両を計66台（令和2年4月1日現在）所有している。各車両を適正に維持管理していくため、道路運送車両法に基づく車検や定期点検、故障時の修繕処理、バッテリーをはじめとする車両関係物品等の購入管理を実施する。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
33,377 千円	33,375 千円	△2 千円	33,375 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	消防車両等台数：66台	対象1台あたり	505,681 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、指令車の要求が見送られたことに伴う廃車申請費用を見直して一部減額した。				

No.14

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防団組織運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市消防団は25分団で構成され、約500人が在籍しているが、その身分は特別職の地方公務員であり、消防団員の年間報酬、災害出動や訓練参加に対する手当、公務災害補償費等の支給などの運営管理を行う。また、消防団の業務執行に必要とされる物品等の購入等の消防団組織全体に関する事務管理も実施する。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
88,558 千円	88,334 千円	△224 千円	88,334 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	消防団員数 R元. 10.1現在：541人	対象1人あたり	163,279 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、消耗品の数を見直す等一部減額した。				

No.15

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防団施設等維持管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害活動拠点として市内25箇所に消防団庁舎が配置されており、これら施設や消防車の維持管理を実施する。また、計25台の消防車を所有しているが、各車両を適正に維持管理していくため、道路運送車両法に基づく車検や定期点検、故障時の修繕処理、バッテリーをはじめとする車両関係物品や消防団員が使用する装備品等の購入管理を実施する。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
15,235 千円	15,402 千円	+167 千円	15,402 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	消防団員数R元. 10.1現在：541人	対象1人あたり	28,469 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、消防団車両のタイヤ更新にかかる費用を見直し一部減額する一方で、ドライブレコーダーの導入を前倒し一斉配備するため増額した。				

No.16

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防団行催事運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	消防団の士気高揚や知識・技術の練磨、習得を目指し、市長が団員、機械器具を観閲し消防団活動の万全を期すため、各種行催事を行うもの。				
第7次総合計画	Plan3 施策16 火災や救急に対する体制の強化を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
1,405千円	1,405千円	0千円	1,405千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	消防団員数	R元.10.1現在:541人	対象1人あたり	2,597円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.17

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防団救助能力向上資機材緊急整備事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害時における消防団のより効果的な救助活動を図るため、配備が進んでいない救助用資機材等を整備し、消防団の能力向上を図り、市民の安全・安心に寄与するもの。				
第7次総合計画	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
41,511千円	34,200千円	△7,311千円	0千円	△34,200千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市人口	R元.10.1現在:385,128人	対象1人あたり	0円
査定結果の理由等	【実施見送り】 補助を活用した救助用資機材4種の全25消防団への一斉導入にかかる要求があったが、計上を見送った。救助用資機材4種の活用にあたっては消防団員の習熟度が求められ新たな負担が生じること、一宮市の面積と常備消防の配置バランスから一斉導入は過大であることから、先行して導入した消防団の利用実態を踏まえつつ検討を進めていくこととした。				

No.18

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防施設整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	災害活動拠点として市内12箇所に配置されている消防本部、消防署、消防出張所及び市内25箇所に配置されている消防団庁舎の適正な維持管理を行う。また、複数人で仮眠している部屋を間仕切り、個室化するもの。				
第7次総合計画	Plan3 施策16 火災や救急に対する体制の強化を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
19,802千円	18,022千円	△1,780千円	18,022千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	消防職員数及び消防団員数	R元.10.1現在:937人	対象1人あたり	19,233円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、葉栗消防出張所の個室化にかかる費用を精査した旨担当課からの申し出を受け一部減額しつつも計上した。				

No.19

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防水利維持管理事業	事業区分	投資的事業
事業概要	火災時に使用する消火栓や防火水槽等の消防水利を維持管理し、計画的に消火栓の増設を実施する。				
第7次総合計画	Plan3 施策16 火災や救急に対する体制の強化を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減(②-①)		増減(③-②)			
74,512千円		73,712千円		73,712千円	
△800千円		0千円			
KPI	受益者など(見込)	公設水利(消火栓、防火水槽、防火井戸)数:5,010基	対象1基あたり	14,712円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、消火栓新設改良工事負担金の箇所数を精査した旨担当課からの申し出を受けたため減額した。				

No.20

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	消防車両更新管理事業	事業区分	投資的事業
事業概要	消防職員が使用する消防車、救急車その他の消防車両を計66台、消防団員が使用する消防車両を計25台(令和2年4月1日現在)所有している。 各車両を適正に維持管理していくため、使用年数等に応じた計画的な更新若しくは新規車両の購入を実施している。 中核市移行を前に、高度救助隊配備が必要となり、それにかかる救助資機材を搬送する車両を整備する。				
第7次総合計画	Plan3 施策16 火災や救急に対する体制の強化を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減(②-①)		増減(③-②)			
174,320千円		149,387千円		168,003千円	
△24,933千円		+18,616千円			
KPI	受益者など(見込)	一宮市人口 R.10.1現在:385,128人	対象1人あたり	436円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模・部局における優先順位を踏まえて、消防車両6台のうち指令車と救助資機材搬送車を一旦保留にした。事業の優先度を再検討した結果、救助資機材搬送車については、現保有の搬送車1台の更新計画の見直し及び高規格救急車の積載資機材の見直しを条件として計上した。				

No.21

担当課室	消防本部総務課	事業名	防火水槽設置事業	事業区分	投資的事業
事業概要	震災時等に有効な耐震性を有する防火水槽(40㎡型)を不足している地域に設置する。 令和2年度は、伝法寺地内の2か所(新田公園及び本郷公園)の設置に必要な地質調査を実施する。				
第7次総合計画	Plan3 施策16 火災や救急に対する体制の強化を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減(②-①)		増減(③-②)			
4,598千円		4,598千円		4,598千円	
0千円		0千円			
KPI	受益者など(見込)	丹陽町連区 R.10.1現在人口:28,626人	対象1人あたり	160円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、いちのみや応援寄附金を活用できることから、要求額通りに計上した。				

No.22

担当課室	消防本部総務課	事業名	水防管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、大口町及び扶桑町で構成されている尾張水害予防組合は、構成市町区域内の木曾川をはじめ各河川及び池沼等の水災に対応するため、水防上必要な施設等の維持管理及び必要な事項の連絡調整を図るなどの事業を実施しており、同事業に要する経費を構成市町が負担している。また、構成市町持ち回りで水防・防災訓練を毎年実施しており、令和2年度は一宮市での開催となる。				
第7次総合計画	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
7,364 千円		7,364 千円		7,364 千円	
0 千円		0 千円		0 千円	
K P I	受益者など (見込)	水防団員数 R元. 10. 1現在 : 541人		対象1人あたり	13,611 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				